

藤 広報WARABI 12

2024/令和6年
わらび・893

- 令和6年12月1日発行／発行所・藤市役所
- 11月1日現在人口：76,477人 前月比 +56人
世帯数：41,904 人口密度：14,966人／km²
- 藤市の面積 5.11km²



～今月の特集～

- このまちでともに暮らす……………2
- どう描く将来の藤市立病院……………6
- 第41回宿場まつり……………10



手話で自己紹介に挑戦

先月2日に錦町児童館で開催した手話教室でのひとこま。2号からは市の障害福祉の取り組みを特集します。併せて御覧ください。



このまちでともに暮らす

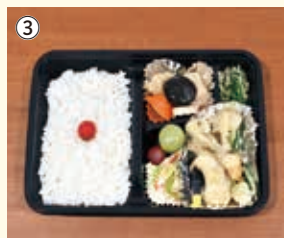
今月3日から9日までは障害福祉への理解を深める「障害者週間」です。そこで2号から5号までは、私たちのまち蕨のコミュニティの一員として、自分らしく暮らす障害のある人や、その支援者の皆さんを特集します。

『障

害のある人となない人が、地域とともに支え合う

まち「わらび」を基本理念として、市は障害福祉に取り組んでいます。これは、そこに暮らすみんなが支え合い、地域をとともに創る、地域共生社会の実現を目指すものです。

市内では、令和2年度に17施設だった障害者福祉関連施設が現在31施設まで増えるなど、障害福祉サービスの体制が徐々に充実しています。こうした専門職による適切な支援に加えて、障害のある人がコミュニティの一員として地



域や社会に参加しやすいまちづくりが進むことで、障害のある人もない人もそれぞれの個性や能力を発揮し、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちが実現します。そして、そのためには私たち一人ひとりが障害に対する正しい知識や理解を持ち、差別や偏見のない社会を目指すことが必要です。

そこで3号からは、地域や社会で積極的に役割を持ち、自分らしく暮らす障害のある人と、その暮らしを支える支援者や地域の声を紹介します。

市

役所1階にあるCaféふわりは、訪れる人がほっと憩えるスペースで、

窓口の待ち時間にコーヒーを楽しむ人や友人との待ち合わせに利用する人など、連日多くのお客さんでにぎわいます。

運営するのは、障害のある人の生活介護や就労支援など幅広く支援を担う多機能型事業所スマイラ松原で、同施設利用者の皆さんが働いています。カフェではコーヒーなどの飲み物のほか、スマイラ松原の焼きたてパン、サンドイッチなどを販売。ランチタイムには行列ができることもあ



り、仕事は大忙しですが、店員として働く利用者のお一人は「スマイラ松原でパンを焼くのも、Caféふわりで働くのも楽しいです」と、はにかんだ笑顔を見せてくれました。スマイラ松原では、これまでも総合社会福祉センターでパン販売を行ってきましたが、生活支援員の小湊紗姫さんは「福祉施設を離れ、さまざまな人が行き交う市役所で活動が始まったことは、とても意味のあることなんです」と言います。お客さんと触れ合う機会が増えることで、利用者へのよい刺激になるだけでは

なく、カフェ利用を通じて、地域の人にスマイラ松原の活動を知ってもらい、また、利用者を身近に感じてもらうことで、障害への理解が深まることも期待しています。

また、市では3日～9日の障害者週間に、障害福祉についての関心と理解を深めるきっかけとしていただこうと、同じく市役所1階で、障害福祉サービス事業所による啓発イベントを実施します（詳細下枠）。日頃の活動を知り、交流する機会となりますので、Caféふわりと併せて、ぜひ、お立ち寄りください。



▶利用者を見守る小湊さん（写真左）

— 蕨市障害者週間の催し —



3日から9日は障害者週間です。この1週間は市役所1階で市内の障害福祉サービス事業所が販売コーナーや体験ブース、パネル展示などを行います。事業所ごとの内容やスケジュールは下記をご参照ください。

※イエローリボン（黄帯）は障害のある人もない人もともに暮らす社会を目指すシンボルマーク。

蕨市障害者週間の催しでもイエローリボンを配布します。

事業所	内容	出店日					時間
		3日	4日	5日	6日	9日	
①ウーリー戸田・蕨	タイル製作品販売	○			○	○	午前10時半～午後0時半
②つむぎ	小物、バッグ等販売	○	○	○	○	○	午前11時～午後2時半
③らくらく	弁当販売	○					午前11時半～正午
④スマイラ松原	パン販売		○				午前11時半～午後0時半
⑤リバイブ蕨	ゲーム、動画編集体験			○	○		午前10時～午後4時
⑥パン工房いちょう	パン販売			○	○	○	午前11時40分～午後0時15分

ところ＝市役所1階 多目的会議室 詳細＝福祉総務課（☎433・7754）

暮らす、

働く

住み慣れた地域で暮らし続けるためにたいせつなのが、住まいや仕事など、生活の基本となる居場所と、地域の皆さんの理解です。4、5頁では障害のある人が暮らすグループホームと、就労を支援する事業所の活動を紹介します。



▲利用者とリビングで談笑する岡本さん(写真左)

「暮らす」を支える

グループホーム 紙ふうせん

(管理者・岡本 佳鼓さん^{おかもと よしこ})

「紙

ふうせん」と大きな看板が立つ錦町の一軒家。

ここは、少人数で家庭的な環境の下、知的障害を持つ6人の利用者が専門職スタッフの支援を受けながら、地域での生活を送るグループホームです。障害があり一人での生活が難しい人の「親亡き後」までを見据えた居場所として、平成27年に開設されました。

利用者は、昼間はそれぞれ仕事や生活訓練へ出かけ、夕方に紙ふうせんに帰ると、家族のようにリビングで食事や団らんを楽しみます。家族と離れて暮らすのが初めてで、入居当初は慣れない環境で体調を崩す人もいましたが、今では皆さん「紙ふうせんが私の家！」ときつぱり。かけがえない我が家になっています。ご近所では、利用者の皆さんが朝夕通勤する姿が、もう見慣れた風景になっていて、近くのお店の人々も積極的に声を掛けてくれます。管理者の岡本佳鼓さんは、「障害者施設が地域の理解を得るのには時間がかかることも多い中、



北町3丁目上町町会
会長 田中 陽一さん^{たなか よういち}

紙ふうせんがスムーズに地域に受け入れてもらえているのがうれしい」と言います。

紙ふうせんのご近所にお住まいで、北町3丁目上町町会会長の田中陽一さんは「施設が出来たばかりの頃、スタッフの人に『生活音で迷惑をおかけするかもしれません』なんて言われたけど、いっしょに暮らす孫も元氣いっぱいだからね。気にならないよ」と笑って話してくれました。また、日頃のご近所同士の交流が、災害などの時の安全安心につながると思う田中さんは、「紙ふうせんの職員や住人のみんなも、そうした支え



合いの輪の一員なんです」と言います。更に、若い頃に精神疾患のある知人とその家族を身近で見てきた経験から、障害のある人とそれを支える家族が地域との関わりを失い、孤立してしまうことを心配し、「こうした施設が地域に出来ることは喜ばしいことだし、ご近所同士が温かく見守って、障害のある人も、その家族も、みんなで支えていけたらいいね」と話してくれました。

「働く」を支える

就労移行支援事業所
ディーキャリア 蕨オフィス
やまもと ひろのぶ
(施設長・山本 弘信さん)



中

中央にあるディーキャリア
ア蕨オフィスは、発達

障害の人を主な対象に、一般就労に向けた支援を行う事業所です。就労まであと少しという人から、まずは定期的に通所できるよう日常生活を整える段階の人まで、さまざまな人が通っています。「利用者の多くは、生きにくさや社会への不安を抱えているんです」と話してくれたのは、施設長の山本弘信さん。訓練での成功体験の積み重ねや、仕事に生かせるスキルの習得などにより利用者の自信を育み、社会復帰するきっかけを提供

▶親身になって相談に乗る山本さん



ディーキャリア 蕨オフィスを卒業したKさんの声

外出不安が強く、通所をする前は3か月ほどひきこもっていましたが、訓練や利用者同士の交流を通じて自信を取り戻すことができました。また、障害者雇用や在宅勤務など私にあった就労支援をしてもらい、就職も決まりました。なにより、スタッフの皆さんが私を受け入れ、寄り添ってくれたことに感謝しています。

することを目指しています。また、山本さんは「発達障害によってつらい経験をした人が社会復帰するための支援に決まった形はありません」と、一人ひとりに寄り添い、ともに将来を考えることをたいせつにしています。8月末で卒業したKさんも、始めの頃は不安から他人を避けていましたが、通ううちに笑顔が増え、再び社会と関わる勇気を得ることができました。Kさんの声を左囲みで紹介します。

「支える」を支える



蕨市障害者福祉センター ドリーマ松原
拠点コーディネーター よしの りょうすけ 吉野 良佑さん

こ

こまでは障害福祉のサービスや支援を活用しながら、地域で暮らしている皆さんを紹介してきましたが、障害のある人の中には、高齢化や障害の重度化、家族の死去など、心身の状態や環境の変化によって、在宅生活が困難になる人もいます。

そこで今年度、市は障害のある人が地域で暮らし続けられるよう、地域全体で支える体制づくりを行う、拠点コーディネーターを新たに配置しました。緊急時にも素早く対応するために、地域で活用できるサービスを詳しく把握した上で、施設や専門機関などによる横のつながりを促し、チームで支援に当たります。「支援者同士がこれまで以上に協力と連携を深めることで、本人とその家族の不安が解消できれば」と吉野良佑さん。支援チームの要として、障害のある人、一人ひとりの将来を見据えます。

詳細は福祉総務課（☎433・7754）



地域医療の拠点へ

移転建替えの蕨市立病院

西公民館・松原会館を含む一体的な敷地に移転建替えが決定した蕨市立病院。6月から9月までは、頼高英雄蕨市長と伊関友伸城西大学経営学部教授との対談を通じて、建替えに向けて基本構想・基本計画作りを進めている蕨市立病院がどのような病院を目指すのか、お伝えします。

**経営強化に取り組みながら
安定経営を目指す**

市長 伊関教授には、5月に蕨市立病院で講演をしていただき、ありがとうございました。

伊関 病院経営や建替えのお役に立てただけでした。

市長 私自身も参加しましたが、非常に有意義な内容でした。

伊関 蕨市立病院は、昭和45年に

建てられ、診療科は内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科の7科で、130床の急性期病床を有していますね。

市長 市内唯一の二次救急を担う病院でもあります。

伊関 病院にもいろいろありますが、蕨市立病院のような自治体病院は、住民の命を守るために、民間医療機関では賄いきれない隙間を埋めることに存在意義があると考えています。

市長 そのことは新型コロナウイルスの対応のときに改めて感じました。保健所の要請にいち早く応え、発熱外来を開設し、可能な限り予約なしでの受け入れをしましたし、感染症患者の受け入れ、更にワクチン接種でも中心的な存在で、市民の皆さんからは、蕨市立病院があつて良かった、必要だよねとの声をいただきました。

伊関 自治体病院の再編・統合の流れの中で、国が再検証対象病院を公表した時期がありましたが、その対象となった多くの自治体病院が、新型コロナ対応に積極的に取り組んでいました。

◀頼高英雄蕨市長と伊関友伸城西大学教授との対談(市役所にて)。
伊関教授は、病院経営や建替え等に関して、多くの自治体病院で支援をされています。蕨市立病院では、伊関教授を講師に、今年5月、病院職員をはじめ多くの市議会議員にも参加いただき、建替えに向けた講演を開催しました。

蕨市長 よりたか ひでお
頼高 英雄



どう描く将来の蕨市立病院



市長 それに、今年1月に発生した能登半島地震でもあったように、災害時における医療機関の存在も大きいものです。

伊関 そうですね。だからこそ病院は災害に強い対策をしておく必要があります。

市長 災害があっても安心につながる病院にしていくことは、たいせつだと感じています。

伊関 自治体病院はたいせつな医療機関ですが、その役割は、よい医療を安価で効率的に提供することです。当然、財務が良好でなければ医療も提供できませんので、医療と財務の両立が重要です。

市長 私は、平成19年に市長に就任しましたが、蕨市立病院は研修医制度の改正などもあり、医師が不足し、赤字経営が課題でした。

伊関 その当時、医師の研修制度の見直しによる、医師の勤務先の流動化が起き、都市志向、大病院志向が加速し、地方を中心に深刻な医師不足が起きました。

市長 そこで、蕨市立病院の経営改革の中で、医師確保に向けた医師の手当の創設をし、そのほか、地域連携の推進や経営委員会の設

置、接遇の改善など、安定経営に向けた取り組みを進めてきました。

伊関 最近、自治体病院関係の会議に参加しましたが、どの病院も、新型コロナウイルス後の病院経営は厳しいと口にしていました。

市長 蕨市立病院では、持続可能な地域医療の提供を確保するため、経営強化プランを策定するとともに、高度急性期医療機関からの入院患者の受け入れや救急受け入れなどに取り組んでいるところです。

耐震化・老朽化対策の中で 蕨市立病院は移転建替えに

伊関 蕨市立病院は、現在、建替えに向けた取り組みが進められていますね。

市長 蕨市では、この間、学校など立ち遅れていた公共施設の耐震化を完了させ、市立病院の耐震化・老朽化対策を検討してきました。

当初は、現在の建物の長寿命化や現在地での建替えを目指しましたが、病院経営を続けながらの現在地建替えは困難と判断し、昨年11月、移転建替え方針案を公表し、市内5か所での市民説明会や「蕨市立病院整備検討審議会」でのご

8ページに続く

城西大学教授 伊関 友伸

いせき ともとし

プロフィール/城西大学経営学部教授/研究テーマ=行政学/総務省・公立病院に関する財政措置のあり方等検討会委員、内閣府・公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会委員、総務省・持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化に関する検討会委員等を歴任/著書=「自治体病院の歴史 住民医療の歩みとこれから」「自治体病院経営改革」「新型コロナから再生する自治体病院」等多数



どう描く将来の蕨市立病院



頼高 英雄 蕨市長

審議を経て、今年3月末に移転建替えを正式に決定しました。今年度は基本構想・基本計画の検討に入り、市民アンケートや病院職員へのヒアリングとともに、引き続き審議会で、ご審議をいただいています。

伊関 建替えは、病院にとって経営にも関わることで、いろいろな検討が必要です。

市長 伊関教授が講演会で話されていたことが、建替えにおいて設計や工事にかかる事業方式の検討など、ローコスト建築の方向性は正にその通りだと思います。

伊関 病室の個室化もポイントの一つです。ニーズとしては非常にありますし、感染症拡大防止や、認知症患者への対応といった部分でも有益であると考えます。

市長 ええ。それに、入院環境の改善や病床利用率向上の面からも

たいせつだと思っています。ただ、全ての個室化というものは、難しいかもしれませんが、できるだけ確保したいと考えています。

伊関 また建替えでは、医療ニーズ等に合わせた機能の拡充、あるいは絞り込みといった検討も大事で、それによって施設規模も変わります。加えて今、医師不足、看護師不足が言われる中で、働きやすい環境づくりも必要です。

市長 病院の機能面も審議会で検討いただいています。また、医師の確保ですが、蕨市では昨年、東京医科大学との包括連携協定を結びました。引き続き、大学の協力をいただきながら、医師の確保に取り組んでいますが、働きやすい環境整備は、医師を含めた医療従事者の確保という点においても、たいせつな部分であると思っています。



蕨市立病院概要

[外来]
内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科

[病棟]
内科病棟、混合病棟、産科病棟
病床数130

[建物]
地上5階建
延床面積6,865.65㎡

詳細＝同院（☎432・2277）

どう描く将来の蕨市立病院



伊関 友伸 城西大学教授

誰にも愛され将来にわたり必要とされる病院へ

伊関 蕨市立病院の目指す方向については、どう考えですか。

市長 災害時や新型コロナウイルスのような新たな感染症から、市民の命と健康を守る拠点として、また、診療科は現在の体制を維持しつつ、例えば、要望の多い認知症への対応なども重要と考えています。

伊関 国は、増加する高齢者医療に対応すべく、医療提供体制の構築について検討を進めています。正に中小の医療機関は、高齢者医療を担うところが大きいですね。

市長 そのためには、急性期医療を基本としつつ、回復期の入院機能も加えるなど、病院機能の拡充が必要だと思っています。

伊関 地方には、急性期と回復期を担う自治体病院がありますが、

都市部です。都市型ハイブリット病院とも言えます。いずれにしても、蕨市立病院をはじめとする中小規模の医療機関は、地域の砦として、地域の医療を守っていくことがたいせつです。

市長 そうした点でも、少子化の中で産婦人科や小児科があることは安心です。市内外に関わらず、まちを選ぶ上での大きな強みとなると思っています。

伊関 蕨市立病院の医療圏は、需要もあり、例えば、さいたま市南区方面での需要の掘り起こしなど、発展を秘めた病院と感じます。

市長 ありがとうございます。蕨市立病院は、これからも市民に愛され、必要とされるとともに、人口減少社会にあつて選ばれるまち、そして、安心して住み続けられるまちづくりの核となる施設として、建替え整備を進めてまいります。

ご利用ください

予防接種（インフルエンザ等）

各種予防接種を実施しています。インフルエンザワクチンは、小児に限り点鼻薬での接種（1回接種で完了）も先月から開始しています。予約時間は午後2時から4時までとなります。

産後ケア事業

出産後のリフレッシュ等を目的とした産後ケアを行っています。通所型のほか短期入所もでき、産後の心身の相談や母乳指導なども受けられます。

申し込み＝保健センター（☎431・5590）



基本構想・基本計画を審議

蕨市立病院では、移転建替え整備に向け「蕨市立病院整備検討審議会」を設置し、病院整備にかかる基本構想・基本計画のご審議をいただいています。

新病院整備の基本方針（案）では、①急性期医療の継続 ②地域医療連携の充実 ③地域包括ケアへの対応 ④周産期医療・小児医療の提供 ⑤入院環境の充実 ⑥外来診療環境の充実を掲げています。診療科は現状を基本としつつ、今後の患者ニーズ等に応じ、将来的に新たな診療科の開設にも対応できるよう、柔軟な対応が可能な診療スペースを確保すること、また、必要病床数は、高齢者の増加を見据えた回復期機能を有する病床の確保をしつつ、現状の130床程度をベースに検討をしていくことなどについて、審議が進められています。計画は今年度末の策定を予定しています。



第1回宿場まつりの様子

－地域の伝統と文化を次世代へ－

今から400年以上前の江戸時代に開設された中山道蕨宿は、宿場町として活気に満ちあふれていました。この歴史ある地域の伝統と文化を守り、次世代につないでいこうと、毎年「宿場まつり」を開催しています。



特集：フオリポート

第41回中仙道武州蕨宿

宿場まつり

宿

場町として栄えた由緒あるまち蕨。その歴史

や面影を今に伝えているのが、毎年11月3日の文化の日に開催している「中仙道武州蕨宿宿場まつり」です。「きてみて、みてみて、やってみて！」をコンセプトに、地域の皆さんの参加の下、行われています。メインイベントは、宿場道中大行列。応募者の中から選ばれた織姫と宿場小町を中心に、盛大に実施されました。パレードの先頭は、静岡県湖西市の浜名湖太鼓。その後、甲冑や羽織を着た人々が練り歩き、鉄砲隊が迫力ある発砲音を響かせます。織姫や宿場小町が通ると、沿道からは温かい歓声が送られていました。他にも、ステージ発表やワークショップ、阿波踊りの披露などが行われ、大いに盛り上がった宿場まつり。地域の歴史に触れるお祭りに、会場には笑顔の輪が広がりました。





1 蕨市民会館の50周年を みんなで盛大にお祝い

昭和49年11月21日に産声をあげた市民会館が、今年で50周年を迎えました(関連左枠)。市民会館ではこれまで、コンサートや映画上映会などの催し、成年式やお年寄りを敬う会などの行事、文化活動団体の発表など、さまざまな場面で市民の皆さんと思い出とともにしてきました。

先月17日には、50周年を記念して、チェンバーオーケストラ蕨によるベートーヴェンの「交響曲第9番(合唱付)」のコンサートが行われました。コンサートでは、オーケストラのすばらしい演奏に加え、「わらびの第九合唱団」による合唱が披露されました。これは、50周年に向けて3年前から進めてきた「わらびの第九プロジェクト」の集大成です。令和3年度に市民の皆さんから募集した歌詞を紡いで蕨オリジナルの歌詞(関連左上枠)

を作成し、4年度に合唱講座を開催。5年度から市民を中心とした合唱団を結成し、発表に向けて練習を重ねてきました。そして迎えた今回の演奏会。オーケストラと合唱団の総勢166人による圧巻の演奏に、会場には割れんばかりの拍手が鳴り続けました。こうして盛大に祝福されて50周年を迎えた市民会館。これからも、市民の皆さんとともに歩んでいくことでしょう。

チェンバーオーケストラ蕨



市民会館を母体とし、県内初となるプロ・オーケストラとして蕨の名前を冠して平成29年に設立。かねてより質の高い音楽をもっと広く市民に届けたいと考えていた市民会館と、その考えに賛同した蕨市音楽家協会の協力を得て発足しました。

毎年の定期演奏会開催に加え、市内小学校の音楽鑑賞教室で音楽の楽しさやすばらしさを伝えています。

わらびの第九合唱団の声

夢のような時間でした

蕨市音楽家協会の皆様のご指導の下、一生懸命練習しました。わらびの第九は歌っていて蕨を愛おしく感じました。オーケストラのきらびやかな響きを全身に浴びながら歌えた事は一生の思い出です。



まえはら せつ子 さん
塚越4丁目

問い合わせ＝
市民会館 (☎
445・7660)



さまざまな生活習慣病を予防し、脳の活性化や幸福度の向上にもつながるウォーキングをいっしょに始めてみませんか？今月中に8,000歩以上歩いた日が4日以上ある人には、もれなく**500円分**のデジタルギフトをプレゼント！

対象＝スマートフォンのウォーキングアプリ「コバトンALKOOマイレージ」に登録している市内在住・在勤者
詳細＝右記二次元コード



アプリの利用方法

- ①スマートフォンの「歩数計-ALKOO」をダウンロード
- ②アプリ内に表示される「コバトンALKOOマイレージ」を登録
- ③参加完了！
アプリへのリンクや詳細はホームページを御覧ください。



ー公民館等で登録をサポートー

保健センターや各公民館で職員が案内します。お気軽にお声掛けください。



point

コバトンALKOOマイレージ

県のウォーキングアプリで、歩数に応じてマイレージポイントが貯まります。ポイントで年4回のプレゼント抽選に参加できるほか、全国のウォーキングマップや日陰マップなど、便利な機能も盛りだくさん。

市民健康公開講座

参加して
ポイントゲット！

体を動かさない生活の未来、慢性疾患・がんの発症と運動不足の関連、最新の研究に基づく効果的な運動方法など ※花苗配布あり。

日時＝1月18日(土) 午後1時半

場所＝くるる 対象＝市民

定員＝先着120人 費用＝無料

講師＝東京医科大学健康増進スポーツ医学分野
濱岡 隆文 主任教授

テーマ＝「活発に体を動かすと、どうして健康になれるのでしょうか」

申し込み＝1月10日までに保健センターへ電話、ファクシミリまたは右記二次元コード



問い合わせ＝保健センター (☎431・5590、
FAX431・5598)

わらびの第九

かがやけ みらいに あしたの わらび
うたごえ せかいに つなげよ わらび
ちいさな まちでも きずなは つよい
れきしが いきづく このまち わらび
あなたも わたしも きぼうに みちて
あふれる よろこび あいする わらび

「よろこび」をテーマにベートーヴェン交響曲第九番「歓喜の歌」のオリジナル歌詞を募集。62人ものかたから応募をいただきました。蕨市音楽家協会が中心となり、市民の皆さんの言葉を紡いで出来た、蕨のオリジナル歌詞です。

Tea Break

～開館当時の様子～

昭和49年11月21日のこけら落としで幕開けし、連日、能や音楽、ラジオ・テレビ公開番組収録などの落成記念行事が催され、市民の皆さんと喜びを分かち合いました。



市民会館落成式典の様子
(昭和49年11月21日)



三橋美智也
ゴールデンショー
(昭和49年11月22日)



蕨少年合唱団(後の
蕨少年少女合唱団)
による演奏会
(昭和49年11月23日)

その他の落成記念行事

蕨市文化協会合同祭典や日本テレビ「スターに挑戦!!」、TBS「ロッテ歌のアルバム」(由紀さおり、アグネス・チャンほか)、「家族そろって歌合戦」(山口百恵ほか) など



皆さんの声を市政に生かします

市民意識調査の結果まとまる

蕨の「いま」を
伝えます!!



市では、市民の皆さんのまちづくりに対する意見・要望を把握し、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していくため、18歳以上の市民を対象に、市民意識調査を毎年実施しています。ここでは、主な調査結果を紹介します。

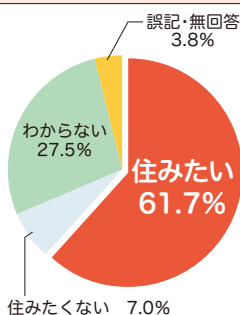
市民の約7割が蕨に愛着
利便性や安全性が高評価

今回の調査対象は、18歳以上の市内在住者から無作為抽出した1000人。そのうち444人の回答があり、回収率は44.4%でした(下囲み)。それでは主な項目を見てみましょう。まず、「まちへの愛



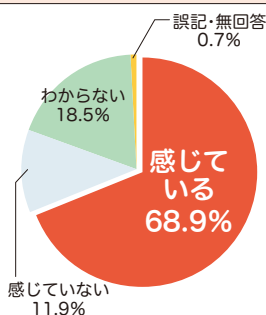
みんなの笑顔があふれるまちへ

永住意識



※小数点以下第2位を四捨五入

まちへの愛着



着」を「感じている」と答えた人は68.9%で、昨年同様、約7割という高い数字に。また、「永住意識」では、今後も蕨市に「住みたい」と答えた人が61.7%で、昨年に続いて6割以上という結果になりました(上グラフ)。いずれも理由は、「買い物や通勤、通学など生活に便利だから」が1位、「災害が少なく安全だから」が2位でした。これらの結果から、多くの人が蕨市は便利で住み続けたいまちだと感じていることがうかがえます。

令和6年度市民意識調査

調査期間：8月2日～9月25日
調査内容：
◎まちへの愛着
◎永住意識
◎まちづくり(防災、子育て、健康づくりなど10分野)
◎重点施策 など全23項目
調査対象：市内在住の18歳以上の男女1,000人(無作為抽出)
回収率：44.4%(444人)

情報ダイヤル

掲載は無料で抽選です(前月未掲載の団体優先)。申し込み=毎月1日～5日の平日に秘書広報課(☎433・7703)へ

※いただいた情報は、市ホームページにも掲載します。



●仲間になりませんか

- ▼蕨塚越サッカー 土・日曜日・祝日 東小学校か塚越小学校 年長～小学生 月2500円(早野・☎070・8449・5241)
- ▼ねこのみ(おしゃべり交流) 月1回 正午 市内 500円(宮本・☎090・3431・4295)
- ▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料(山本・☎432・4543)
- ▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後0時半 北町公民館 無料(小林・☎431・3180)
- ▼パルレ・フランチ 火曜日(曜日・時間応相談) くるる年会費2500円 1回2600円(フランス語(初級～上級)荒井・☎070・6551・3051)
- ▼英書を読む会 土曜日 午前10時 南公民館 中学生以上無料 中学英語・時事英語の翻訳(桐谷・☎443・0232)
- ▼蕨ラグビースクール 土曜日 午前9時～11時半 東小学校 小学生 月1500円(小林・☎y.kobaru@y.kobaru.com)

今後の市政の
重点施策
36項目

上位の
結果

重 要 度		満 足 度	
1位	防犯対策	1位	消防・救急体制
2位	防災対策	2位	防災対策
3位	消防・救急体制	3位	子ども・子育て支援
4位	上・下水道の整備、雨水対策	4位	コミュニティバスなどの公共交通の充実
5位	地域における医療体制の充実と市立病院の充実	5位	国民健康保険など社会保障の充実

防犯対策



▲今年度は街なか防犯カメラを60基増設し、合計200基に。今月から順次稼働予定

防災対策



▲地域全体で防災対策を推進（写真は総合防災演習の非常用応急給水栓設置訓練）

消防・救急体制



▲市民の皆さんの生命と財産を守るため、消防・救急活動を迅速かつ的確に実施

昨年同様に関心が集まる
安全で安心なまちづくり

続いては、今後の市政の重点施策36項目について、「重要度」「満足度」の両面からお聞きした結果です（上囲み）。

「重要度」は、1位が「防犯対策」、2位が「防災対策」、3位が「消防・救急体制」となり、昨年と同様に、暮らしの安全や安心に関する分野が上位を占めました。「満足度」は、1位が「消防・救急体制」、2位が「防災対策」、3位が「子ども・子育て支援」となり、「消防・救急体制」と「防災対策」は、重要度に続いて、満足度でも高い結果となりました。

防災意識と子育て満足度
ともに8割超えの数字に

また、防災や子育て、健康づくりなど、「まちづくり」に関する10分野についても意見を伺いました。そのうち、防災については、「災害に備えて何か準備をしているか」という設問に対し、「非常用の食料や保存水を用意している」な

ど、85・4%の人が自宅で行うかの対策をしているという回答となり、防災への高い意識が分かりました。また、子育てについては、18歳未満の子どもがいる人に、「子育てしやすいまちだと思うか」と聞いたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人が合計84・6%と、昨年に続いて、高い結果となりました。その理由は、1位が、「こども医療費無料化などの支援制度が充実している」となり、子育て施策への満足度の高さがうかがえます。

皆さんの意見を生かして
より住みやすいまちへ

市ではこうした結果を基に、

今後も皆さんが住み続けたいと思えるまちづくりを目指し、各施策の充実を図っていきます。なお、調査結果は、市役所1階市民協働課や各公民館、図書館、市ホームページで御覧になれます。



問い合わせ 政策課 ☎ 433・7698

▼サンデーセブンミニテニスクラブ 日曜日 午後6時 南小学校 入会金1000円 月500円（峯崎・☎442・1540）
▼健康麻雀カレッジ 中央公民館 月曜日 松原会館 水曜日 北町公民館 金曜日 午後1時 南公民館 土曜日 午後0時半 月1000円 1回10000円 中谷・☎070・6473・5335
▼じゃすみん蔵カラオケ会 月曜日 午後1時 金曜日 午前9時 じゃすみん蔵（北町5-18） 月10000円 見学自由（佐藤・☎080・3024・2531）
▼健康体操クラブ 木曜日 午前10時 下蔵公民館 月2000円（柳元・☎442・8875）
●参加しませんか
▼成人向けテニスクール 1月9日～3月27日 木曜日 全12回 午後7時15分 富士見テニスコート 初心者 先着20人 1万2000円（田代・☎070・6460・0193）
▼蔵断酒会 3日（火） 中央公民館 13日（金） 南公民館 19日（木） 旭町公民館 午後7時（大住・☎090・2749・9640）
▼少林寺拳法蔵市スポーツ少年団体験教室 7日（土） 午後6時 第二中学校 小・中学生 無料（上堀・☎090・9319・6782）
▼しずちゃんとお話ししましょう（視覚障害をテーマにしたお話し） 16日・1月20日 月曜日 午前11時 南公民館 無料（林・☎090・9342・4131）



写真で振り返る

わらびこの一年



2024

12月を迎え、今年も残すところあと僅かとなりました。そこで16、17日には市政やイベントなど蕨のこの一年を写真とともに振り返ります。



②第78回蕨市成年式



①令和6年能登半島地震被災地へ職員を派遣



③蕨駅西口再開発事業 第2工区着工



④多機能型地域子育て支援センター「ほっこり〜の蕨中央」開設



⑤大荒田交通公園リニューアルオープン



⑦苗木市・藤まつり



⑥第二子以降学校給食費無償化事業開始

6月		5月		4月		3月		2月		1月	
2日	1日	28日	27日	26日	25日	24日	23日	22日	21日	20日	19日
第3次蕨市子ども読書活動推進計画策定 クルールアセスメント開始(9月30日) 指定暑熱避難施設(クーリングシエル クリーン)わらび市民運動		女子サッカー教室(3月24日予定) ランタナー・フアーム in わらび プラントキットの配布(6月28日)	ゼロカーボンシティ宣言	山梨県笛吹市と協定締結(災害)⑧ 群馬県片品村と協定締結(森林整備) 夕暮れ市(8月24日)第2回 わらび子育て支援フェスタ2024・ こどもまつり	キンシカール実証実験開始(3月31日予定)⑧ 山梨県笛吹市と協定締結(災害)⑨ 群馬県片品村と協定締結(森林整備) 夕暮れ市(8月24日)第2回 わらび子育て支援フェスタ2024・ こどもまつり	苗木市・藤まつり⑦	読書・読み聞かせ手帳の配布開始 苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦
第3次蕨市子ども読書活動推進計画策定 クルールアセスメント開始(9月30日) 指定暑熱避難施設(クーリングシエル クリーン)わらび市民運動		女子サッカー教室(3月24日予定) ランタナー・フアーム in わらび プラントキットの配布(6月28日)	ゼロカーボンシティ宣言	山梨県笛吹市と協定締結(災害)⑧ 群馬県片品村と協定締結(森林整備) 夕暮れ市(8月24日)第2回 わらび子育て支援フェスタ2024・ こどもまつり	キンシカール実証実験開始(3月31日予定)⑧ 山梨県笛吹市と協定締結(災害)⑨ 群馬県片品村と協定締結(森林整備) 夕暮れ市(8月24日)第2回 わらび子育て支援フェスタ2024・ こどもまつり	苗木市・藤まつり⑦	読書・読み聞かせ手帳の配布開始 苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦	蕨市・苗木市・藤まつり⑦

[illegible]

農業のたいせつさを学ぶ

東小学校の校内にある約3畝×4畝の田んぼで、10月28日に5年生70人が稲刈りを体験しました。田植えから稲の生育を見守ってきた子どもたちは、ついに迎えた収穫に大興奮。初めての作業に手間取りながらも、みんなで協力し合って収穫し、農業の楽しさと大変さを肌で感じていました。



まちの話題

ここでは10月下旬から11月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します

平和を願い戦没者を追悼

10月30日、市民会館で「蕨市戦没者追悼式」が執り行われました。式典には、先の大戦で尊い命を落とされた戦没者の遺族のかたがたをはじめ、173人が参列。皆で黙祷をささげ、献花台に花を供えるなど、戦没者の冥福を祈るとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。



「けやき文化賞」に今井氏

市の文化功労者に贈られる「けやき文化賞」の表彰式が先月3日にくるで開催。受賞者の今井良助氏は、アメリカ・エルドラド郡との姉妹都市締結の掛け橋となり、蕨・エルドラド姉妹都市協力会の発足に携わるなど、両市民の交流を牽引。蕨の国際交流の発展と市民文化の向上に貢献されています。



「ハローわらび」12月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

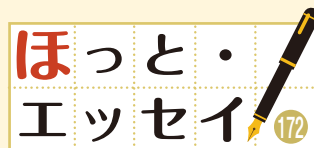
放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	11/29(金)～12/5(木)	6(金)～12(木)	13(金)～19(木)	20(金)～26(木)	27(金)～1/2(木)
00	タウンタウン 金婚祝式	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウン ウォーキングイベント in 蕨市民公園	市政ガイド わらび市政ほっとNews	新春美術チャンネル
05	大人のためのお話会	タウンタウンワイド 蕨市総合防災演習	ミジンコ教室	タウンタウン むしばんコンサート	河鍋曉斎記念美術館 ※過去の放送分の中から 2本分まとめてお届け します。
10	蕨市政なう！	園芸品評会&プランター ファーム in わらびフォ トコンテスト授賞式	特集・ウィークリープラス	蕨市政なう！	
15	着実に推進！ 健康まちづくり	消防署見学にいこう	織姫が巡る新しい市役所	2024 映像で振り返る 蕨市政この1年	
20	探れたてスポット 地域の話題が 盛りだくさん	市政ガイド 市民意識調査結果が まとまる	音楽が響き渡るまち チェンバーオーケストラ蕨 定期演奏会 わらびの第九	探れたてスポット 年末年始のお知らせほか	特集・ウィークリープラス インタビュー ～2025年の抱負～
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課（☎433・7703）



蕨市では、町会をはじめ、市民、行政、警察が一体となつて、防犯対策に力を入れ、市内の犯罪件数は、ピークであった平成15年の3046件から、昨年は、695件と4分の1以下に減少しています。一方で、コロナ禍が明けて、全国的に犯罪件数が増加傾向にあり、特に、関東近県では、最近、闇バイトを使った凶悪な強盗事件が相次ぐなど不安が広がっています。



防犯対策の更なる充実へ 街なか防犯カメラを増設

市長 頼高 英雄

こうした中、蕨市では、防犯対策の更なる充実に向けて、今年度から新たに家庭用防犯カメラ設置費補助制度を創設し、個人宅には2万円、共同住宅には10万円を上限に補助を行っていますが、このところ申請が増加しています。更に、平成29年に導入した140基の「街なか防犯カメラ」を、更に60基増設し、合計200基とする予定で、今月から運用を開始していきます。年の瀬は、町会の皆さんの年末夜警が行われますが、地域の防犯力向上には、こうした市民の皆さんのご協力が欠かせません。蕨市ではこれからも関係団体の皆さんと連携して、安全・安心のまちづくりを全力で進めていきます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は5日です。ただし1月は9日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。



地域で取り組む防災演習

先月17日、南小学校で「総合防災演習」が開催されました。市民の皆さんによる初期消火訓練やスタンドパイプ操作訓練のほか、消防隊員による高所救出搬送訓練、消防団による一斉放水訓練などを実施。参加した819人は、災害時の対応や心構えを学び、防災意識を高めていました。

さくらちゃん（1歳8か月）

塩野 聡さん
彩さんの長女
中央7丁目



わが家のアイドル

「さくらは体を動かすのが大好きです。公園や児童館では、お友達と走り回ったり階段を上ったりといつも元気いっぱい。お気に入りのアニメの歌が聞こえると、リズムに合わせて腕を振って踊り出すのが愛らしいですね。最近はおもちゃのお片づけも一人でできるようになって、その成長がうれしいです。これからも明るく元気に過ごしてほしいですね」と母親の彩さん。



空き店舗等の有効活用へ

先月14日、蕨市と蕨商工会議所、株式会社ジェクトワン、株式会社埼玉りそな銀行は、空き店舗等の有効活用等の促進に関する協定を締結。4者が連携し、それぞれの強みを生かして、にぎわいや交流の場の創出と地域経済の活性化を図っていきます。



「気軽に話しに来てくださいね」と笹川さん

輝いています

ひと

白杖を持ったナース

ささ がわ しず こ
笹川 静子 さん

困難を乗り越え支える人に

「障害があっても自分らしく、人の役に立ちたい」。笹川静子さん（62歳・塚越7丁目）は、視覚障害がありながらもその経験を生かし、さまざまなボランティア活動を行っています。

看護師として病院や看護学校で働いてきた笹川さんですが、進行性の難病で視力が低下し、仕事を続けられなくなりました。視力が奪われていく絶望の中で、同じ看護師として働く娘から掛けられた「一番尊敬している看護師は、お母さんだよ」との言葉に勇気づけられ、「目が見えなくてもできることがあるはず」と自分を奮い立たせました。

視力が低下して一番困った

のは、情報を取得すること。受けられるサービスが分からず、もどかしい思いをしました。そんな思いをする人を減らそうと、情報共有の場を増やすことに力を注ぎます。患者会で医療情報を共有し、また視覚リハビリ訓練施設で出会った仲間と作ったサークルでは、ヨガや手料理を楽しみながら、気軽に情報交換できる場を提供しています。

更に看護師の経験を生かして、公民館で健康相談を受ける活動に参加すると、評判を耳にした視覚障害のあるかたが笹川さんを訪れるように。訓練施設で学んだ白杖の使い方や同行援護のサービスなどを伝えると「出かける機会が増えました」と喜ばれ、やりがいを感じています。

活動は更に広がり、今月16日には南公民館で視覚障害をテーマに、訪れた人と気軽に話をするイベントを開催予定です（15分情報ダイヤル参照）。「活動を支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れず、私も誰かを支えることができたらうれしい」と笹川さん。彼女の明るく生きる姿は、これからも多くの人を励まし、勇気づけていくことでしょう。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.103—



晩斎筆・秋月種樹賛
「天狗集会之図」
紙本墨画淡彩 軸装

幕末から明治前半の政治家・秋月種樹が「山公自是林園主」と書いた掛軸を、天狗たちが見上げ、批評し合っています。その軸が掛けられているのは、何と天狗の鼻。天狗は木の洞から顔を出し、苦しい表情で、下の様子を見ています。

本図は天狗たちを晩斎が描き、秋月が書を認めて合筆しています。自分のことを棚に上げて他人を評価する人々の自信過剰ぶりを、「天狗になる」という慣用句になぞらえ、天狗たちが品評をしている姿で表現した、晩斎の強烈な風刺画です。

河鍋晩斎記念美術館 開催中（23日まで）

企画展「画鬼晩斎 妖怪画コレクション」展
同時開催 特別展「『晩斎酔画』の世界」展

開館＝午前10時～午後4時 ところ＝南町4-36-4
休館＝火・木曜日、24日～1月3日
入館料＝一般600円 高校生・大学生500円 小・中学生300円
65歳以上500円

※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください

詳細＝同館（☎441・9780）



展覧会の詳しい内容は美術館のホームページを御覧ください



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎
天保2年（1831）
～明治22年（1889）